

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 6月28日 更新

事務事業名		健康総合グラウンド整備促進検討委員会				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原 哲也
	施策	22	生涯スポーツの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	山田 清
	基本事業	73	スポーツ施設(環境)の整備			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1518
予算科目		会計一般	款10	項6	目2	事業連番11549	法令根拠	スポーツ基本法	成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度		☒ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	みんなが自由にスポーツを楽しみ、体とところを健やかにする市民の広場として、合志市健康総合グラウンドづくりの検証を行う。既存のグラウンドが市民の要望に合ったものであるかを検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みと、グラウンド整備を進める。
【業務の流れ】	検討委員会開催通知、事案検討、会議報告書、審議内容報告、市長への答申。
【主な予算費目】	報償、旅費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	グラウンド等を利用しやすくなる。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
多くの市民が利活用できる仕組みと、グラウンドの整備を図るため、検討委員会から市長へ意見書を提出した。		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア:検討委員会の開催	回	委員会議終了による減
イ:検討委員会出席者数	人	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
健康総合グラウンド、既存グラウンド整備を検証する。		→ ア:検討した施設数
		件
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
みんなが安全に活動できる施設にする		→ ア:検証結果がでた施設数
		件
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
健康総合グラウンドの検討、及び既存グラウンドの検証を行うので、検証結果がでた施設として設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回	0	2	5	5				
	イ	人	0	18	50	44				
②対象指標	ア	件	0	31	9	33				
	イ									
③成果指標	ア	件	0	0	9	14				
	イ									
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		103	296	252			
	人 件 費	(A)事業費計	千円	0	103	296	252			
		(A)のうち指定経費	千円	0	63	186	160			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	0	3	3	3			
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	0	90	40	90				
		(B)人件費計	千円	0	363	161	0			
			千円	0	466	457	252			

事務事業名	健康総合グラウンド整備促進検討委員会	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 総合健康グラウンド等の整備促進検討委員会組織がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 既存グラウンドとの整備費等を勘案し、コスト削減に努める。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人数であり削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 施設整備にあわせて、利用料の検討も行う。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						